

第20号 坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

春江町石塚（いしづか）は、春江町北部に位置し、区域内にゆりの里公園を配する農村集落です。前年度、規約を全面改訂し役員体制を一新し、長寿命化も加入し関係機関と活動の強化連携を図ります。多面的活動への理解と賛同はあるものの、農家組合・土地改良との協力体制が弱かったと聞いています。今、集落を守りより良い地域に継承する、心意気のある共同活動に心からお礼申し上げます。

新しく体制を構築しスタートします！



表紙テーマ：**春、再スタート。共同活動の開始です。**（2025/3/2 石塚水里ネット会）

頁	内 容 <small>（令和7年度テーマ：みんなでつなごう）</small>
p 1～p 2	令和6年度 第2回代議員会・シンポジウム報告
p 3～p 4	水居地区農用地を守る会（三国：加戸地区）動紹介
p 5～p 6	下久米田緑を守る会（丸岡：鳴鹿地区）活動紹介
p 7～p 8	辻郷の会（春江：北部地区）活動紹介
p 9～p 10	田島窪N・M・G（坂井：東十郷地区）活動紹介
p 11～p 12	令和7年度 第1回運営員会・文字デザイン防草シート
p 13～p 14	春！満開・ホテル再生の道

令和6年度 第2回代議員会 ハートピア春江小ホール (2025/2/20)



出席者 代議員 128人 (出席(姪参加))
参加者 239人 (実務者等を含めた総参加数)

議案第1号 坂井市農地水広域協定書の一部改正について . . . 議決
議案第2号 坂井市農地水広域協定の事業計画の変更について . . . 議決



殿森議長 議事進行



令和7年度 新役員紹介

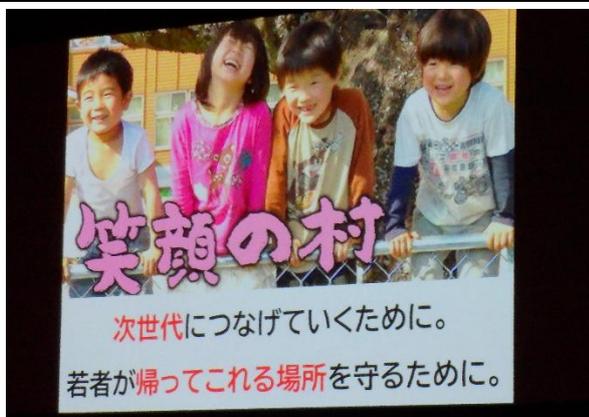
未来へ、みんなで つなごう 地域の農業・農地・農村シンポジウム

ハートピア春江小ホール (2025/2/20)



出席者	坂井市長	池田 禎孝 氏	
	パネリスト	田中 勇樹 氏	(坂井担い手ネットワーク会長)
	パネリスト	大川 美由紀 氏	(四ツ柳エコライフ)
	パネリスト	西本 繁夫 氏	(坂井市農地水広域協定 会長)
	進行	加藤 佳恵 主任	(福井県坂井農林総合事務所)

テーマ1 ～ 未来へ、みんなでつなぐ 多面的機能活動とは ～
 テーマ2 ～ 未来へ、みんなでつなぐ 地域の協力と理解とは ～
 テーマ3 ～ 未来へ、みんなでつなぐ 多様性のある活動とは ～
 テーマ4 ～ 未来へ、みんなでつなぐ 農業・農地・農村のためには ～



さくら植樹スライドショー (野中山王)



定池副会長 司会進行

水居地区農用地を守る会

代表 木内 宏

1 集落委員会の概要

当地区は三国町の東方、えちぜん鉄道三国芦原線「水居駅」に位置する水田地帯であり、旧村25戸(令和6年現在：農家20、非農家5)、東区16戸の計41戸の集落です。



「平成24年 水路清掃の様子」

設立 平成24年

構成員 農家20戸/非農家5戸

役員 代表1名 実務1名(会計含む)

対象施設 水田約27ha 農道約3km
水路約3.5km

活動内容 機能点検 排水路泥上げ 定期点検(排水路・農道) 空き缶ゴミ拾い
草刈り・除草 不備箇所の補修 異常気象時見回り 研修参加

2 農家・農地の現状

兼業農家が多く、旧村24戸が「ベンチャーファームみずい」の生産組合に加入しており、共同作業での水稲や転作等(麦・そば)を実施しています。

水田については、土地改良事業でのパイプライン化、交付金補助による給水栓バルブ取替、排水路法面ブロック設置や農機具(トラクター・コンバイン)等の購入により、**効率の良い水管理や農作業を実施**することができています。

3 後継者の育成

役員や事務担当については、年齢順で約5年毎に交代しており、当地区においては当面は存続できると思います。

喫緊の課題として、農業従事者の高齢化、若手不足(県外流失等)による活動協力者の減少が考えられます。上記にも述べましたが、当地区の農家は全て生産組合に加入していることもあり、**共同作業実施上、現時点では支障が出ていません**。しかし、数年後の農業活動従事者確保は厳しくなることも想定されます。そこで、農業従事者を確保するため、次の2点を当地区では行なっています。**①若手に大型特殊免許取得を依頼するとともに取得費用を生産組合が全額補助**する。**②若手に農業従事割当を積極的に行い、ベテランによる指導サポート**をする。

また、今後(5年・10年後)の当地区農業・生産組合の在り方、外部団体への委託等も視野に入れ、当地区農用地の存続について、適宜、区民の方々と協議していきたいと思います。他地区生産組合(大小を含む)の**動向情報を得ながら、持続可能な当地区農業の在り方を模索し、計画的に実施**していきたいと考えています。

4 活動状況



策定点検（3月）



泥上げ（3月）



空き缶・ごみ拾い（3月）



排水路清掃（8月）



定期点検（4～11月）



草刈り（10月）

5 この事業を通じて

当地区では、「農用地を守る会」と「生産組合（ベンチャーファームみずい）」が連携し合い、持続可能な農業活動を実践できるよう心掛けています。今後も**坂井市の交付金等の支援を活用し、区民間のコミュニケーションを継続しながら、よりよい当地区の効率的な農業活動及び農用地保全に繋げていけるよう努めていきたい**と考えています。

下久米田緑を守る会

代表 小林 信一

1 集落委員会の概要

当地区は丸岡町東部の鳴鹿地区に位置し、県下一の穀倉地帯坂井平野を潤す用水の要・鳴鹿大堰パイプラインをはじめ福井大学付属病院、県総合グリーンセンター、六呂瀬山古墳群(国の史跡)、山の中腹にある久米田神社(式内神社)など他地区には見られない県を代表する施設や国の宝が密集する地域でもあります。

農地環境保全の維持のため坂井市農地水の活動に取り組んでいます。

- 設立 平成20年(2008年)
- 所在地 坂井市丸岡町下久米田
- 構成 下久米田区 95戸
- 役員 代表、副代表(区長)、農家組合長、書記、会計
- 構成員 自治会、壮友会・久友会、女性の会、子供会
- 対象面積 水田 2,821a 獣害対策防護柵 1,300m パイプライン 2,330m
農業用水路 4,900m 農業排水路 4,200m
高椋排水路 1,740m 新江排水路 1,990m

2 活動内容

機能診断(施設点検)



用排水路の泥上げ



空き缶拾い





獣害対策用防護柵の点検と補修



高椋排水路防草シートまわりの除草



異常気象時の緊急点検



排水路の布設



3 農家・農地の現状と後継者育成についての問題点

農地持ち農家55戸ありますが農地持ち非農家が多く農業従事者は11戸にすぎません。
農家の減少、世代交代に伴い農地への関心が低下しています。

農家の後継者不足や構成員の高齢化も問題点となっており、**区の行事等と連携を取りながら参加しやすい活動を引き続き進めていきます。**

今後には**子供等でも出来る活動を作り、家族揃って参加して農地水事業への意義を少しでも知ってもらえるような活動も考えていく必要がある**と思います。

また、ドローンやロボット草刈機等の機械を使う等、工夫を凝らし負担軽減を考えていく必要もあります。

辻郷の会

代表 末政 実二

1. 集落委員会の概要

当地区は九頭竜川右岸に位置し、大石第一尋常小学校が設立されるなど元大石村西部の産業・交通・文教の中心地でした。

田畑計は40町余で古くから農業が盛んで菜種・木綿栽培が盛んであったと伝わっています。

27戸の世帯で**農家、非農家含めて地域の景観・環境等の維持の為農地水の活動を平成28年から取り組んでおります。**

- ・ 設立 平成28年
- ・ 構成委員 農業者20世帯、非農家7世帯
- ・ 役員 会長1名 副会長2名 会計1名 その他5名
- ・ 対象地区 水田36ha 水路11km 農道4km
- ・ 活動内容 排水路泥上げ、清掃、空き缶、ゴミ拾い 一斉草刈り
防草シート敷設、花植 機能診断（施設点検）

2. 集落委員会活動で困っているところ

- ・ 若手世代者は平日勤務の為、土、日活動により参加人数の確保と作業内容の協議が必要。（作業内容が限られる）

3. 後継者育成について工夫しているところ

- ・ **持続継続をしていく為に区民全世帯で取り組める体制作り。**
当地区の区長、農家組合長と事業計画を立て作業の内容、時期の実施。参加者の選定（大人、子供）を協議し区民全体での参加としています。老若男女の参加により作業を通じて区民のコミュニケーションを計ります。
- ・ 取り組み内容を皆様が理解し、世代を引き継ぎできるよう工夫しています。
- ・ 排水路の高低差がある水路は重機、ダンプ等の使用により作業の**効率化、重労働を回避しています。**

4. 集落委員会の活動状況

草刈り（辻区民）



草刈り（辻区民）



花壇整備（子供会）



花壇整備（子供会）



空き缶拾い（辻区民）



水路泥上げ（壮和会、中青会）



防草シート（女性の会）



5. この事業を通じて

区民および各種構成団体の力を借りながら持続可能な地域環境の保全に取り組ん行くとともに、活動を通じてコミュニケーションをはかり、みんなで支えあえる地域にしたいと考えています。

田島窪 N・M・G

代表 近藤 義 紀

1 集落委員会の概要

当地区は、坂井町の東側に位置し四方を田畑に囲まれており、**田島窪という行政区名より里久保といった方が**、お年を召した方々には馴染みがあるかもしれません。

私達の委員会の名称について田島窪 N・M・G の **N・M・G** とは、**どういう意味なのか**とよく聞かれます。当初私自身も名称について気になったので、初代代表にいきさつを聞いたところ、**農地・水・グループの頭文字**を取ってインパクトを持たせるために命名したとのことでした。

- 設立
平成 23 年度
- 構成員
農業者 20 名 非農業者 6 名
- 役員
代表 1 名、事務局 2 名（会計 1 名を含む）
- 対象地区
水田 15.41ha、水路 4km、農道 3km
- 活動内容
運営会議、機能点検・診断、空き缶拾い、排水路の泥上げ、花壇づくり、防草シート張り



2 集落委員会活動で困っているところ

新型コロナウイルス感染症が流行になったあたりから高齢化も相まって事業の活動参加者が減り、**5年、10年後には担い手が不足し、限界集落となるのではと懸念**しています。また、**農業等においても近隣の法人や個人経営者に委託が増え、水田や水路、農道を今後自分達だけでは維持管理できなくなるのではないかと危惧**しております。

3 後継者育成について、工夫しているところ

区の初寄りに当該活動の年間行事を区の年間行事と一緒に公表し、**事前に実施日を決定することで区民への周知を図**っています。また、当該活動がある月の2週間ほど前には区長、農家組合長、当該活動の代表者の連名で実施日時や内容についてのお知らせ文を区民に配布して参加を呼び掛けています。**空き缶拾いや花壇づくりについては、男性だけの参加ではなく女性や子供の参加**も受け入れています。

4 集落委員会の活動状況

運営会議



機能点検・診断



空き缶拾い



排水路の泥上げ



花壇づくり



防草シート張り



5 この事業を通じて・・・

希薄になりつつある現代社会において、現在実施している当該活動を通じて地域のコミュニケーションを図り、昨年隣の県で発生した地震や豪雨などの自然災害時には区民同士で助け合い、また支え合えるような関係づくりに努めていきたいと考えています。

令和7年度 第1回運営委員会 坂井市役所3階大ホール (2025/4/24)



出席者 運営委員 27人 (出席(26名))

運議案第1号 令和7年度 事業計画、収支予算及び長寿命化計画について・・・ 議決

運議案第2号 令和7年度 第1回代議員会及び研修会について・・・ 議決

※令和7年6月26日(木) 18:30～ ハートピア春江小ホール

運議案第3号 令和7年度 第1回代議員への議案等について・・・ 議決

※ 令和6年度 事業報告及び収支決算の承認について

※ 多面的機能支払交付金 環境負荷低減の

クロスコンプライアンス(みどりチェック)チェックシートについて

多面的機能支払交付金 環境負荷低減のクロスコンプライアンス(みどりチェック)チェックシートについては、代議員会後の研修会にて説明する予定です。

令和7年度 多面的機能支払交付金 制度改正のポイント

多面的機能支払交付金(長寿命化)の交付単価を見直します。

直営施工を実施する場合基本単価(6/6)を、実施しない場合は、基本単価に5/6を乗じます。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス(みどりチェック)が事業要件化されました。

文字デザイン防草シート（八ヶ郷地域を守る会：丸岡）



集落委員会の声：

おもしろいね！農地水の活動のPR効果があるのでは。
集落周りなので、見る機会が多くなることは良いことでは。

文字デザイン防草シート（中庄環境環境保全会：春江）



集落委員会の声：

道沿いの車がおおるところで目立ちますね。PRになりますね。
もう少し周辺管理を行い、バエルようにしたいと思います。

春！満開



芝桜 (丸岡町ハケ郷地域守る会地係 2025/4/30 撮影)



農地にさえわります。(2025/4/30 撮影)



お見事！感謝です。(2025/4/30 撮影)

夢 進 い 人

ホタル再生 を目指し地域コミュニティを取り戻す！

～ 安沢アグリ・エコ・プロジェクト 代議員 矢尾正男 氏 ～



春江町安沢（安沢アグリ・エコ・プロジェクト）は、農用地を利用したビオトープを構築し、**ホタル再生**を目指しています。この活動のきっかけは、**地域に身近な生き物や植物が存在することが、子ども達や地域にどれだけ良い影響を与えるかの議論**であったとお聞きします。高齢者の憩いの場や地域の触れ合いの場となることも期待しているとのこと。

昔、磯部川下流域で九頭竜川に隣接する安沢には、**多くの小動物や昆虫及び魚類が生息し、それらとの触れ合いや体験を、懐かしく楽しそうに話されていました。**

気球温暖化や異常気象は、身近な課題となっています。

今、地域の中心となる方々が、少しの勇気を持って行う行動は、**子どもたちの未来を少しでも良いものとして、つなげていくように思います。**本年度から環境負荷低減が多面的機能支払交付金で制度化されました。

未来に、みんなでつなぐ、粋でかっこいい共同活動に心から感謝いたします。

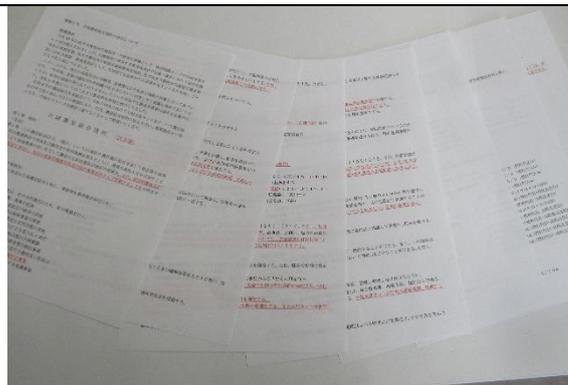




全員集合の後、一番の懸案水路から泥上げを開始しました。(2025/3/2 撮影)



堆積土砂を土嚢袋に集積する独特の工法です



新しく改正した規約 (全7頁)

令和6年度の1年間をかけ、集落・農家組合・土地改良と関連・整合を図るため、石塚水里ネット会役員が中心となり、規約改正を含め集落の合意形成を経て新たな体制でスタートしました。農業用施設管理に対し、非農家の生活に関わる利益が大きくもたらされていることへの理解や合意が難しかったようにお聞きしています。しかし、中心となるメンバーが、もう一度、農村集落の在り方について、今できることの意味を丁寧に交換し、新たな体制となったとお聞きします。分かっている、将来の礎となる協力・活動への理解と合意形成は困難を極めます。

将来を見据えた勇気ある決断と行動に心から感謝いたします。

発刊：坂井市農地水広域協定（坂井市役所内）

坂井市坂井町下新庄 1-1

☎0776-67-2351